

令和5年度 児童発達支援自己評価表

| 項目 | 質問内容 | はい | いいえ | 工夫している点、課題や改善すべき点など |
|----------|---|----|-----|---|
| 環境・体制整備 | ① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | 4 | | 訓練室の大きさに差があるので、活動内容に合わせてスタッフ同士で話し合ったり、交互に使用したりなど、偏りがないように配慮している。 |
| | ② 職員の配置は適切であるか | 4 | | 個別対応が中心だが、フリーのスタッフを一人配置し、緊急時の対応に備えることができています。 |
| | ③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか | 4 | | トイレ前にスロープを備えている。 |
| | ④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか | 4 | | アルコール消毒や換気を定期的に行っている。 |
| 業務改善 | ⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか | 4 | | 朝礼時や月に1回定例会議を行い、日々の業務改善ができるようにしている |
| | ⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | 4 | | 年に1回アンケートを行い、保護者からの意見を参考に業務改善につなげている |
| | ⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | 4 | | ホームページでの公開と事業所内に掲示している |
| | ⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | | 4 | 現在は実施していないが、本部による定期評価は実施している。 |
| | ⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | 4 | | 本部開催の研修に積極的に参加している。 |
| 適切な支援の提供 | ⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか | 4 | | 計画書作成前に保護者と課題や支援のすり合わせを行っている。 |
| | ⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | 4 | | 本部で開発されたアセスメントツールを導入している。少なくとも三か月に一度見直し、情報を更新している。 |
| | ⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか | 4 | | |
| | ⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか | 4 | | 療育記録作成時に支援計画の内容を踏まえて考案し、トレーニングを実施している。 |
| | ⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っているか | 4 | | 朝礼や月ごとの会議、毎時間ごとの振り返りを通して情報共有を行い、スタッフ間で話し合いながら考案できている。 |
| | ⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | 4 | | 療育教材やプリントを活用し、スタッフ間での話し合いを通して様々な活動ができるよう工夫している。また、日々の記録を参考にして固定化しないように工夫している。 |
| | ⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成しているか | 3 | 1 | 就学前には、就学準備コースとして2人程度の小集団活動を行っている。同じ年齢の生徒同士が同じ時間にいないこともあり、小集団での活動が難しいこともある |
| | ⑰ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | 2 | 2 | 朝礼で業務の確認は行うが、時間の都合上支援内容まで細かく確認するのは難しい日もある |
| | ⑱ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | 3 | 1 | 毎日、朝礼で前日のトレーニングの共有を行っている。 |
| | ⑲ 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | 4 | | 職員間で誰が見ても分かるように徹底している。課題の残るものや前回の課題がクリアできたことに関しては詳しく記載するようにしている |
| | ⑳ 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか | 4 | | 児童の様子、トレーニング後のフィードバックでの内容を踏まえ随時計画書の見直しを最低でも三か月に一度は更新し、最新の情報を反映させることが出来る。 |

| | | | | | |
|--------------|---|---|---|---|--|
| 関係機関や保護者との連携 | ㉑ | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | 4 | | 相談支援員と定期的に担当者会議を行っており、必要に応じて専門職が会議に参加することもある |
| | ㉒ | 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか | 4 | | 必要に応じて、関係機関との話し合いの場に参加している。 |
| | ㉓ | 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか | 3 | 1 | 必要に応じて保育所や相談支援員との情報共有の場を設けている。 |
| | ㉔ | 移行支援として、小学校や特別支援学校(初等部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか | 1 | 3 | 保護者を通して行っている。 |
| | ㉕ | 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | 3 | 1 | |
| | ㉖ | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | | 4 | 通所している生徒同士の交流はあるが、外部の児童との交流は課題が多く実行できていない。 |
| | ㉗ | 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか | | 4 | 感染症の拡大もあり控えていたが、落ち着いてきたので今後は参加をしていく予定。 |
| | ㉘ | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | 4 | | フィードバックの際にトレーニングの様子や、家庭や保育所、幼稚園での様子を聞いて毎回情報共有をし、支援に反映させている。 |
| | ㉙ | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか | 4 | | 勉強会のような時間は設けていないがフィードバック内で助言を行っている。 |
| 保護者への説明責任等 | ㉚ | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | 4 | | 体験、ご契約時に丁寧に説明をしている。疑問質問にはその都度対応し、納得して通所いただけるよう努めている。 |
| | ㉛ | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか | 4 | | 個別支援計画書作成時、更新時には項目ごとのねらいや、支援の方針などを丁寧に説明し、納得していただいたうえで同意を得ている。 |
| | ㉜ | 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | 4 | | フィードバックの際にご家庭や園での様子を伺い、課題や保護者の悩みなどを親身になって聞き必要な助言や支援をおこなっている |
| | ㉝ | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | | 4 | |
| | ㉞ | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 4 | | 保護者からのご相談があった場合、次回ご利用時よりご希望の内容に沿えるよう、スタッフ間で話し合い、療育記録に取り入れ迅速に対応している。 |
| | ㉟ | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | 1 | 3 | |
| | ㊱ | 個人情報の取扱いに十分注意しているか | 4 | | 個人情報が保管されている棚は施錠し、スタッフしか取り扱えないよう配慮している。 |
| | ㊲ | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | 4 | | |
| | ㊳ | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | | 4 | |
| 非常時等の対応 | ㊴ | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか | 4 | | マニュアル化し、スタッフ間での周知すると共に、月に一度、感染症対策などの研修を行っている。保護者に対しても、具体的に説明、対応していく。 |
| | ㊵ | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | 4 | | 年2回避難訓練を行い、その様子を事業所内に掲示している。 |
| | ㊶ | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか | 4 | | 体験、ご契約時の際、服薬、てんかん、その他の持病に関する情報は保護者から直接伺い、記録に残している。 |
| | ㊷ | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | 4 | | 体験、ご契約時の際、アレルギーに関する情報、服薬物は保護者から直接伺い、記録に残している。 |
| | ㊸ | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | 4 | | その都度作成し、スタッフ間で共有し、再発防止につなげている。 |
| | ㊹ | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | 4 | | 月に一度虐待防止の研修をおこない、スタッフ間で共有している。 |
| | ㊺ | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか | 4 | | 身体拘束が必要になる対象の児童がいないが、危険な状況下では安全面を優先し、すぐに保護者にご確認いただくよう説明了解を得ている。 |